



会長 菅原文之
幹事 佐々木源悦
会報 佐々木崇光 佐藤静市
高橋利光 渡辺光悦

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2345回例会 2012. 3. 29 No.36

本日の出席率

- ・本日の出席率 100%
- ・前回確定出席率 100%

ニコニコボックス

- ・養田隆会長（桐生RC）お世話様です。
- ・村田勝俊幹事（桐生RC）お世話様です。
- ・菅原文之会長 3月25日、日曜日にもかかわらず、歌津地区集会施設の落成式、午後の戸倉復興支援団体への表札作成システムの寄贈式に参加された会員の皆様大変ご苦労様でした。佐沼RCの面目が立ちました。余目、立川との懇親会も、翌日保科一彦会長より感謝の電話があり皆様に宜しくとのことでした。本日のフォーラムに期待します。
- ・阿部泰彦会員 妻の誕生日に美しい花をありがとうございました。
- ・阿部賢悟会員 南三陸町歌津支援、戸倉支援に多数の会員の参加をいただきありがとうございます。交流会も総勢24名で大変盛り上がり友好を深めることが出来ました。
- ・佐藤静市会員 本日は、環境保全委員会のフォーラムです。食の安全について消費拡大の為の正確な知識についてゲストスピーカーをお願いしております。
- ・鈴木彦太会員 環境保全委員会のフォーラムの盛会に期待し、ゲストスピーカーを歓迎します。
- ・菅野幸一郎会員 3月25日(日)、桐生RCの落成式、余目RC、立川RCの贈呈式に参加の皆様、1日掛りで大変お疲れ様でした。フォーラムに期待。
- ・村上武彦会員 しばらく欠席して申し訳ございませんでした。
- ・佐々木功一会員 欠席しておりますして申し訳ありませんでした。
- ・佐々木源悦幹事以下 環境保全委員会のフォーラム

に期待して。
布施孝之会員 佐々木崇会員 飯塚仁哉会員
阿部泰彦会員 佐藤敬喜会員 氏家良典会員
高田次雄会員 伊藤俊郎会員 山田直志会員
二階堂學会員 遠藤光則会員 三浦孝次郎会員
小泉洋会員 高橋利光会員 富士原裕子会員
武川毅会員 高橋義文会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原文之会長

日曜日は南三陸町の支援関係行事にご参加の皆様にはお忙しい思いをさせました。午前中は歌津吉野沢仮設住宅の集会施設の落成式、午後は戸倉復興支援団への表札作成システムの寄贈式がありました。吉野沢仮設住宅集会施設は我々のクラブが連携しましたが、群馬県の桐生RCはじめ桐生市内5クラブが中心となって進められたプロジェクトです。集会施設ということで役に立つものではないかと思えます。表札作成システムは、山形の余目RC、立川RCが中心となって宮城大学の指導のもと表札作り事業を進めたものです。終えて、サンシャイン佐沼で懇親会が持たれ、非常に盛り上がりました。翌日余目RCの保科一彦会長よりお礼の電話があり、末永いおつき合い、そして、今後何らかの支援をしたいということでした。

参加して感じましたことは、海が見える所から四方が山の所に移住してつらいのではないかと思います。漁を業いとしている人たちは多分玄関が魚市場なのではないのかなと思えました。高台移転の抵抗はそういうところにあるのではないかと。先の見えない中でいつかは復興を果たして海の生活の場を築くまで頑張るといふ気概が伝わってきました。ほんとうの意味での復興はこれからが本番です。意気込、ボランティア、相互扶助だけでは解決が難しい段階に入ってきたのかなと思えます。初期の衣食住は何とかなったとしても、それは他力本願であって、あのぐらい痛め付け

られると自力本願ではありません。義援金、支援金では解決しません。気持ちが萎えないように色々な方面の方々がかけつけて激励をしていますが、それにも限界があるのではないかと思います。国や県は図面上の計画ばかりを立てていてもだめなのではないか。一刻も早く生活の基盤整備、地域産業の建設等を最優先して海で働く場づくりの取り組みがなかったら、その土地に誰もいなくなってしまうのではないかと思います。



吉野沢仮設住宅集会施設の落成式

幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・ガバナー事務所より
 1. 「山田の作文」が届きました。
 2. 4月のロータリーレート 1ドル=82円
- ・小野寺則雄ガバナーエレクトより
2012年度地区協議会開催の案内
日時 5月20日(日) 11:10~(10:30~受付)
場所 二戸市民文化会館他
登録料 8,000円
- ・久慈RCより、創立50周年記念大会の案内
日時 9月29日(土) 15:00~
場所 久慈グランドホテル
登録料 10,000円(本案内は7月に改めて)

各委員会報告

- ・復興支援特別委員会（阿部賢悟委員長）
3月25日(日)、会長要件にありましたように、南三陸町の歌津、戸倉支援に参加してきました。朝8時30分に集まり、夕方6時からの懇親会と1日参加を頂戴しありがとうございました。余目、立川RCの方々からこれから永いお付き合いをしていただきたいというお話もありました。懇親会は非常に盛り上がり、有意義な時を過ごすことが出来ました。

フォーラム

- ・環境保全委員会（担当：佐藤静市委員長）
「放射線について」

宮城県東部畜産保健衛生所
次長 高田直和様

今日は放射線の話ということで、とても大きなテーマですが、私は家畜の病気の方が専門で放射線については付け焼き刃の知識しかありません。ただ、農家さんを巡回して回る都合で自分なりに勉強したり、講習会に参加したりして、一通りのことであればご紹介で

きるかなと思って、お話をさせていただきます。

一番大事なことは、皆さんもテレビ、新聞、雑誌等色々な方面から放射線に対する知識を耳にされていると思います。放射線に関して2色に分かれているようです。学者の中でも安全、安心だから大丈夫とおっしゃる方と、率は小さいかも知れないがリスクはあるとおっしゃる方と分かれています。人は、ほんとうは安心だと思いたいのです。そのため正確な認識というより、「何々をしたい」という意識が働いて偏ったりすることがあると思いますが、今日私がお話をしますが、それを聞かれてそのまま真に受けるのではなく、自分でよく考え自分達の生活にどの様な影響があるかということを考えるのが一番良いのではないかと



ゲストスピーカー、高田直和様

います。情報やデータを紹介しますので、あるいは自分で得た情報をそのまま受けるのではなく、自分で考えて判断していただくことがとても大事だと思っております。

放射線を出す物質を「放射性物質」、放射性物質が放射線を出す能力を「放射能」と呼び、「放射性物質」が電球、「放射線」が光線と電灯に例えることが出来ます。放射性物質は花粉と一緒に飛ばすのと同じように飛んで来ていると考えていただければいいかなと。飛んで来て地面に落ちたり木の上に落ちたりという状況になっており、放射性物質は花粉と同じ様な感じで行動していると思ってもらえればいい。

放射線にはα線、β線、γ線の3種類あり、今よく耳にされているセシウムはγ線を出しており、ここが一番問題になっているところ。α線、β線はγ線に比べて生きものに与える影響はγ線の20分の1位と考えられていて、普段我々はそんなに問題にしておりません。α線は薄い紙1枚程度で、β線は薄いアルミニウム板で遮ることが出来ますが、γ線は厚い鉛板で防護しなければ衣服等を通して体の中に入ってきてしまいます。

物理学的半減期とは、放射性物質が放射線を放出して別の原子核に変化し、半分になるまでの期間です。生物学的半減期とは、体内にとりこまれた放射性物質が、代謝などにより対外に排出されることで半分になるまでの期間です。ヨウ素131は一週間で半分になりますので福島原発の爆発で飛んだヨウ素131はほとんどありません。セシウム134、セシウム137は同じ量が出たと言われており、134の方は半分になっていると思われませんが、137は半減期が30年と長いのでなかなか減りません。そのためやっかいなものと言われております。(資料を参考にしてください)

— 外部被ばくと内部被ばく、放射能と人体影響の単位についてお話いただきましたが、割愛させていただきます。